



い)、あたたかい服装（朝の冷え込みにも対応できるもの）とフィールド散策に適した靴、長袖・長ズボンなど肌が露出しない服装などがおすすめです。



なつかしいレコードを♪

07 MAY
↓
21 MAY

博物館のコレクションの中でも、レコードは意外と数も多く 1000 件ほどの登録があります。割れてしまっているものや、ジャケットのみ、などありますが、プレーヤーにかければ懐かしい当時の歌声が流れてくる保存状態がよいものも含まれています。SP 盤や、ドーナツ盤、LP 盤など、規格もいろいろです。そこで、

今年度の移動博物館ではこれらのレコードの展示と、利尻のご当地ソングなどを紹介してみたいと思います。



ご当地ソングはコレクションの中でも希少で数も限られますが、「島を愛す」「利尻慕情」などの有名どころのほか、「北航路」「小樽発利尻行き」「利尻の女」「利尻ブルース」などもあります。ちょっと前までの浮島まつりの踊りパ

開館カレンダー



博物館は通年開館ですが、月曜日、祝日の翌日、および年末年始の休館日のほか、資料や施設のメンテナンスのために、臨時休館（5/13、10/15）をいただきます。なお、7～8月は7/14、22、28、8/4、12、25は臨時開館とします。7/7と8/18は休館日ですので、お間違えのないようお気をつけください。悪天・災害などによる予告なしの休館日の場合は、以下のQRコードにて周知をしますので、ご活用ください。



臨時休館かどうかはこちらのQRコードでご確認ください！

春の探鳥会

29 APR

いよいよ春らしい風景が広がるこの頃ですが、旅の途中の休憩や、利尻での子育てのため、鳥たちも続々とやってきているようです。恒例の春の探鳥会は、森をのんびり歩き、鳥はもちろん、春の自然をいろいろと探して歩く会。鳥はスズメとカラスしかわからん!という方でももちろん OK。ぜひ、自分だけの春を見つけてください。途中、標本観察や鳥類標識調査の見学も予定していますので、お散歩気分でご参加ください。

春の探鳥会【日時】4/29（火・祝）7:30～9:00。雨天・悪天の場合は中止いたします。【集合】7:30に森林公園駐車場へ。【定員・申込】10名程度を予定（定員となった場合は9:30から二回目を行います）。4/25（金）までに、お電話（博物館・85-1411）にて、（1）お名前、（2）前・当日つながる電話番号、をお知らせください。メールの申込も可能ですが、確認等が遅れることがありますので、ご了承ください。【持ち物・服装など】：筆記用具・双眼鏡・図鑑・カメラなど観察に必要と思われるものを各自用意（双眼鏡は当日貸出も可能ですので、申込時にお知らせくださ

レードで流れていた「浮島音頭」もちゃんとレコード化されています。これらの利尻と関係の深い曲のジャケットなどを眺めていただきながら、当時のメロディーをぜひ思い出していただければ幸いです。会場では学芸員が常駐し、プレーヤーも用意して試聴もできるようにしておきますので、お近くにおいでの際にはお立ち寄りください。当館がまだ知らないご当地ソングレコードもあれば、会場でぜひ教えてください！

第5回移動博物館「レコードと島の歌」展【会場と期間】①杓形会場・どんとホワイエ：5/7（水）～12（月）、②仙法志会場・仙法志支所ロビー：5/14（水）～16（金）、5/19（月）～5/21（水）。

ピカピカの学芸員がやってきた！

4 月から学芸員として博物館に着任した富永豪太（とみながこうた）です。大学時代は昆虫、特にアミメカゲロウ（アリジゴクとして有名なウスバカゲロウの仲間）について研究をしており、各地で虫取り網を振ったり夜に灯りをつけて虫を集めたりなど、虫に囲まれた生活を送っておりました。

利尻島には大学院生時代に調査で訪れたことがあり、利尻山からの景色に胸をうたれました。今

後、島の色々なところで昆虫採集をしようと思っているので、これからの時期どこかでお会いするかもしれません。もし見かけましたらぜひ気軽に話しかけてください。また、昆虫だけでなく歴史や文化など、幅広い分野について調査・資料収集を行い、この島の魅力を後世に伝えていけるよう尽力していきます。島のことについてまだわからない事も多いため、ここでの暮らしを楽しみながら勉強させていただければと思いますの



で、お力添えいただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

「利尻研究」最新号公開中！

44 号

年度末に「利尻研究 44 号」の発刊を行い、利尻や周辺地域における新しい発見などを以下のとおり報告しました。ご興味ある分野がございましたら、お近くの博物館や図書館のほか、ご自宅からでも次の QR コードにて閲覧・ダウンロードなども可能ですので、ぜひご活用ください。



「科学技術情報発信・流通総合システム」(J-STAGE) のページに飛びます

▼柏崎 昭：利尻島の甲虫目録 その 2 —2019 年から 2022 年の採集記録を含む—。1-26. ▼内山幸子：利尻島における動物利用の特徴と変遷。27-51. ▼山谷文人：李志恒「漂舟録」に記録された利尻・礼文についての一考察。53-59. ▼杉浦直人・四方圭一郎：礼文島に生息するスカシバ類の追加記録。61-62. ▼高田 慎也・山谷文人・佐藤雅彦：利尻島におけるキンメフクロウの目撃例。

63-64. ▼佐藤諒一・柏崎 昭：礼文島のオサムシ科甲虫。65-74. ▼佐藤雅彦：利尻島の池から見つかったモクズガニ。75-78. ▼天野孝保・Emilie Fongral・風間健太郎：利尻島沖におけるアホウドリ *Phoebastria albatrus* 成鳥の観察記録。79-81. ▼平松未帆・黒木玲朱莉・新井律子・稲本俊太・竹重志織・風間麻未・佐藤雅彦・佐々木瑞希・風間健太郎：北海道利尻島におけるロイコクロリディウム属 *Leucochloridium* 吸虫 2 種の記録。83-85. ▼黒木玲朱莉・河村真穂・ハンセン龍・風間健太郎：利尻島沖におけるカンムリウミスズメ *Synthliboramphus wumizusume* の観察記録。87-89. ▼佐藤雅彦・佐山勝彦：利尻島からのオオスズメバチの記録。91-92.



仙法志小学校が完全給食となる前にスキムミルクが配られた食器（佐孝氏寄贈品）

掲示板

資料寄贈 ▼給食用食器 1 点（写真参照）、3/13、佐孝静江。▽貴重な資料のご提供、ありがとうございました！ **傷病鳥** ▼ミヤマホオジロ、3/24、杳形、佐々木利来。▼ミヤマホオジロ、4/1、仙法志、大窪知史。▽どちらもガラスなどへの衝突死でした。サンプルは今後標本とさせていただきます。

リイシリの購読・閲覧 博物館のホームページにて、最新号のほか、過去 2 年分のバックナンバーを公開中。発行時に配信する「発行お知らせメール」もありますので、ご利用ください。ネット環境がない方の場合、利尻町内の方には無料でお配りしているほか、町外の方には郵送料のご負担をいただければ定期購読も可能ですので、お気軽にお問合せ願います。

編集後記 どこでも人材不足のこの世の中ですが、なんと、新しい学芸員が当館にやってきてくれました！柔軟な発想とみずみずしいパワーで、博物館をリフレッシュしてくれることに期待する毎日です。（ま）